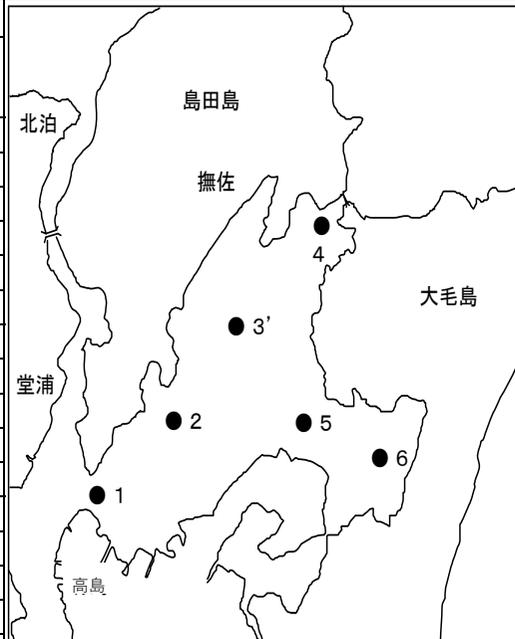


令和6年度 ウチノ海有害プランクトン調査（9月9日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	DO (mg/L)	細胞/mL				
							シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	シャットネラ グロボーサ	カレニア ミキモトイ	ココロディニウム ポリクリコイデス
1	08:26	0-5			9.1		0.17	8.3	0.53	1.0	-
		0	27.32	31.45		6.3					
		1	27.31	31.43		6.3					
		5	27.31	31.46		6.3					
		10	27.29	31.49		6.3					
		B-1	27.29	31.48		6.3					
2	08:31	0-5			4.9		0.08	8.3	0.38	24.3	-
		0	28.18	31.57		7.4					
		1	27.85	31.63		7.2					
		5	27.39	31.76		7.0	-	4.3	0.01	6.0	-
		B-1	27.20	31.73		5.9	0.05	10.0	0.18	29.3	-
		3'	08:39	0-5				6.6		-	6.7
0	28.29	31.60		8.5	0.01	-	0.01		32.0	-	
1	28.21	31.59		8.6	0.02	0.7	0.04		846.7	-	
4	27.43	31.74			-	1.7	-		430.0	-	
5	27.25	31.78		7.2	-	3.0	-		247.7	-	
10	27.13	31.87		6.5							
4	08:48	0-5			7.1		-	6.3	-	298.7	-
		0	28.24	31.61		8.0					
		1	28.08	31.57		8.1					
		5	27.37	31.75		7.3	-	13.3	-	218.0	-
		10	27.18	31.80		5.8					
		B-1	27.05	31.86		5.7					
5	08:55	0-5			6.9		0.10	10.3	0.30	266.0	-
		0	28.25	31.59		7.8					
		1	28.03	31.58		7.9	0.01	3.0	0.01	335.0	-
		2	27.71	31.59			-	11.7	-	445.0	-
		5	27.41	31.71		7.1	-	7.7	-	368.3	-
		10	27.15	31.79		5.4	0.09	14.0	0.16	18.0	-
6	09:02	0-5			5.1		-	10.7	-	868.3	-
		0	28.41	31.61		8.5					
		1	28.08	31.58		8.6	0.01	8.0	0.02	371.7	-
		5	27.44	31.71		7.3					
		10	26.83	31.66		3.4					
		B-1	26.63	31.67		0.9					



備考

- ・有害種のシャットネラ属(区分不能、オバータ)が前回調査時より増加しました。本種は、高密度化すると魚類を斃死させる恐れがあります。今後の動向にご注意ください。
シャットネラ属(3種合計 区分不能+オバータ)
最大細胞密度 14.09 cells/mL (St.5 10m)
- ・有害種のカレニア ミキモトイは前回調査時と同程度で推移していますが、広範囲に拡大しています。本種は、高密度化すると魚介類を斃死させる恐れがあります。今後の動向にご注意ください。
最大細胞密度 868.3 cells/mL (St.6 0-5m)
※一部水域では、赤茶色の着色あり
- ・珪藻は前回調査時から減少しました。
珪藻細胞密度 :0 cells/ml (St.5 0-5m)
- ・次回の調査は9月13日(金)を予定しています。